

(9) 推進員の手引き

景観整備機構(公財)名古屋まちづくり公社 景観整備アドバイザー 野田展葛

なごや歴まちびと養成講座の講義や演習に使用するテキスト(名古屋歴史的建造物保存活用推進員の手引)は、第Ⅰ期養成講座において各講師が作成・使用されたテキストをもとに作成されました。第Ⅰ期講座の開講前に作成することが望ましかったとも言えますが、講座開講のスケジュールから、第Ⅰ期講座を進めながら作成する事となりました。作成には専門的知識を必要とするため、業務の一部を愛知建築士会に委託するとともに、名古屋歴史的建造物保存活用推進会議及び同専門家育成部会の意見を聞きとりまとめられました。

使用目的

使用目的は、「名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)養成講座 第Ⅱ期以降のテキストとして使用するとともに、なごや歴まちびとが助言・指導を行うときの参考資料として活用する。」こととしました。

体裁・発行部数等

テキストの体裁や発行部数などは、次の通り設定しました。

体裁：A4 サイズ横書きカラー印刷

頁数：153 ページ

部数：200 部程度

発行者等

発行者等は次の通りです。養成講座講師の執筆・監修のほか、名古屋歴史的建造物保存活用推進会議や愛知建築士会など多くの方々の参画や協力で作成されました。

発行：景観整備機構(財)名古屋都市整備公社(現(公財)名古屋まちづくり公社)

執筆・監修：名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)養成講座(第Ⅰ期) 講師

作成協力：名古屋歴史的建造物保存活用推進会議、同専門家育成部会

業務委託(一部)：公益社団法人愛知建築士会、同まちづくり委員会

作成手続きとスケジュール

作成手続きやスケジュールは下表の通りです。

スケジュール	会議等	内容
22.7.23~23.11.30	愛知建築士会に一部作成業務委託	
23.6.23	専門家育成部会	作成方針の検討
23.7.13	名古屋歴史的建造物保存活用推進会議	作成方針の決定
23.6.27	各講師に原稿作成を依頼	
23.7.13~11.29	公社内部作業	原稿の執筆・監修・校正
23.10.3	専門家育成部会	内容の審議
23.11.15	愛知建築士会まちづくり委員会	案の作成
23.11.28	愛知建築士会まちづくり委員会	最終確認
23.11.21~12.20	印刷製本契約	中京コピー株式会社
23.12.20		印刷製本出来上がり
24.3.1	専門家育成部会	結果を報告

内容

テキストの内容（目次）は次の通りです。

はじめに	2-5 日本の庭園	3-2 活用計画の立て方
第1章 ガイダンス	2-6 木造建築	3-3 活用のための法律
1-1 アイスブレイク	2-7 補修・改修計画	3-4 保存活用現場見学
1-2 ガイダンス	2-8 耐震診断・設計	3-5 身近な歴史的建造物の討議
1-3 歴史まちづくりの推進	2-9 歴史的建造物調査法	3-6 身近な歴史的建造物の発表
1-4 名古屋市の文化財保護施策	2-10 歴史的建造物調査演習	3-7 保存活用ネットワーク論
第2章 保存技術	2-11 補修改修工事Ⅰ（大工）	3-8 活用計画演習
2-1 歴史的建造物の保存活用と環境保全	2-12 補修改修工事Ⅱ（左官）	3-9 発表会
2-2 建築法規	2-13 補修改修工事Ⅲ（屋根）	関係者名簿
2-3 歴史的建造物評価法	2-14 保存修復現場見学	
2-4 日本建築史	第3章 活用計画	
	3-1 活用の事例	

配布先

推進員の手引きは、養成講座の講師及び受講生に配布するとともに、名古屋歴史的建造物保存活用推進会議の委員、愛知建築士会まちづくり委員会の委員等の関係者にも配布されました。また、歴史的建造物の保存活用に関心のある団体や専門家などから要望があった場合は、特段の問題が無い場合を除いて公開・頒布することとしました。